

桜川市の維持向上すべき歴史的風致

【桜川市の歴史的風致】

桜川市において把握できる関連文化財群のうち、地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動、及びその活動が行われる歴史上価値の高い建造物等が一体となり、良好な市街地が形成された歴史的風致が認められるのは、下記のとおりである。

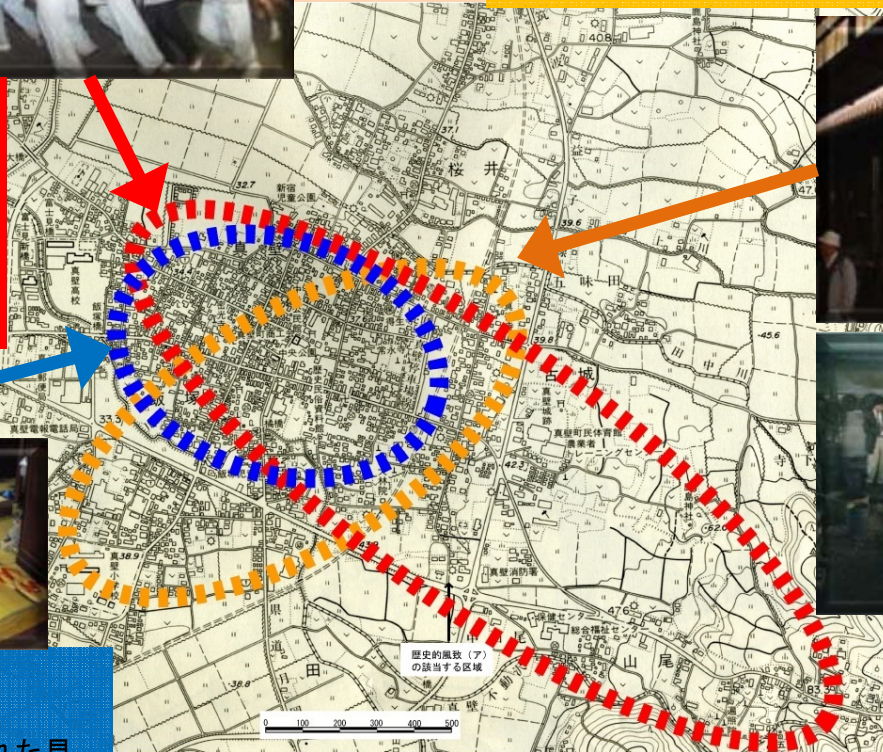


(ウ) 伝統的な産業と町

伝統的な工法により梵鐘が製造され、完成時に聞こえる鐘の音や鑄込みの時に聞こえる読経は、この地区ならではの雰囲気を醸し出している。

(ア) 真壁の町並みと祇園祭

祭礼は山尾地区の五所駒瀧神社から城下町の真壁地区に神輿の遷座を受け、各町の安全と五穀豊穡を祈願するもので、夜には各町から山車が繰り出され、賑やかに町を彩る。



(イ) 真壁地区の商家と商い

真壁地区には、江戸期以降に建築された見世蔵等でいまでも商いが行われている。



桜川市の重点区域における施策・事業概要



旧真壁郵便局耐震補強事業

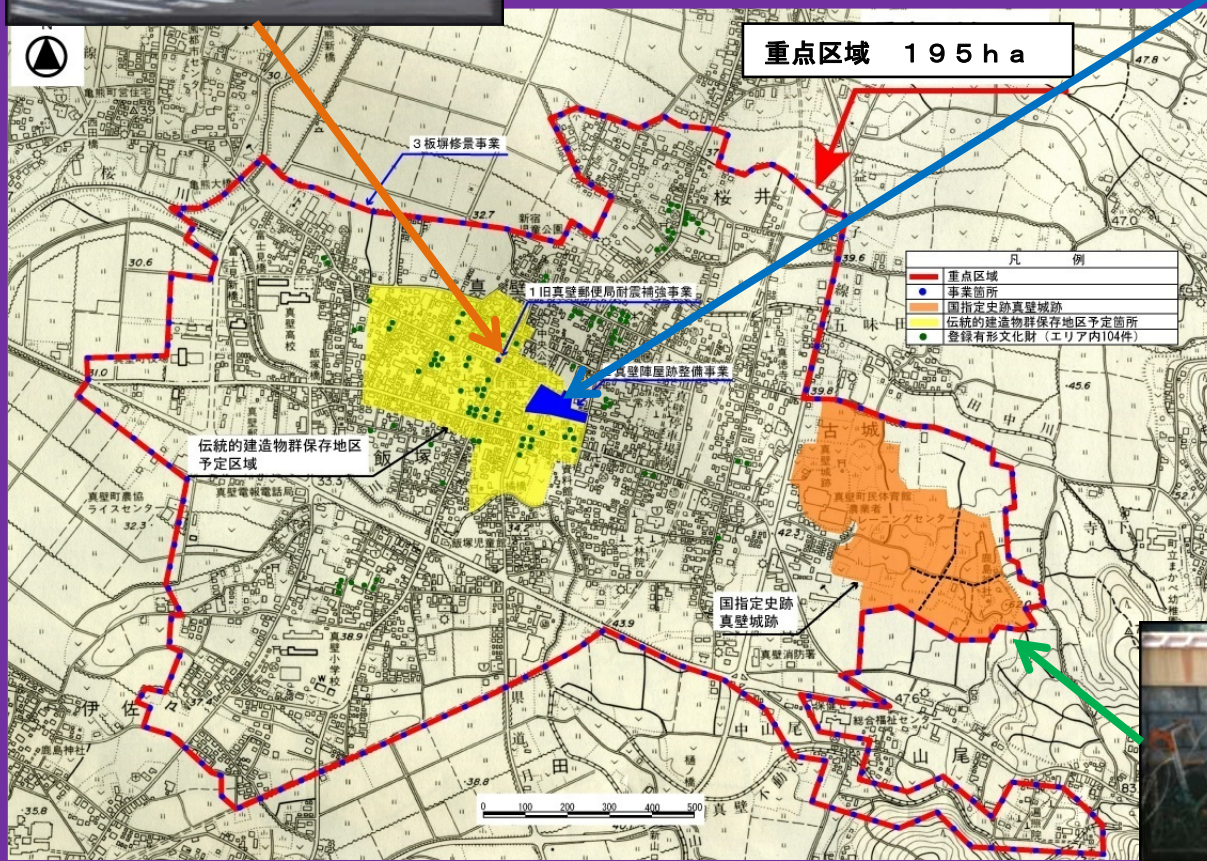
町並み案内所や地域の歴史発信の場として使用してきた旧真壁郵便局は、老朽化が著しく、敷地を含めた文化財の買い取りと耐震補強工事を行う。



調査イメージ



発掘箇所(推定)



真壁陣屋跡整備事業

真壁陣屋跡地の公有地部分である真壁中央公民館敷地を対象に埋蔵文化財の確認調査を実施する。

確認調査の成果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら遺構の保存を図りつつ、真壁陣屋跡の整備を行い、あわせて御陣屋の遺構を示す地上表示の整備等を行う。

景観計画・高度地区の導入

重点区域内では、策定中の景観計画において、景観重点区域とし、開発行為の内容や建築物等の形態・意匠・色彩等に係る景観形成基準を定め、高さの規制を行う。
また、都市計画において第一種低層住居専用地域の高さ制限以外にも高度地区導入の検討を進める。



板塀修景事業

歴史的景観に配慮し、個人宅のブロック塀について板塀にする修景事業を行う。